

てとー。

tetote

2

No.76



特集

『地域共生社会フォーラム』報告

NHK『バリバラ』レギュラー出演中
玉木幸則氏による全体会
&各分科会 講演ダイジェスト (P.2)

- P.6 福祉活動への貢献ありがとうございました P.11 成年後見制度とは?
表彰状・感謝状授与式を開催しました こんなちは、権利擁護センターです
- P.8 あたたかいご支援、ご協力ありがとうございました P.12 米原市のボランティア情報をお届けします
令和4年度共同募金運動報告 ボランティア情報「まいボラ」

*写真は、ファミサポ交流会「ミニ門松づくり」の様子です。



玉木 幸則 氏

友だちは、毎日家族でご飯…
僕は月に二回しか、お父ちゃん、お母ちゃんに
会えへんかった
なんで僕だけここ（施設）に
おらなあかんのかな…寂しいな…

特集『地域共生社会フォーラム』報告

今回の特集では、米原市地域共生社会フォーラムでの玉木幸則さんによる全体会や、分科会の講演ダイジェストを中心にお届けします。すべての人が認め合い、ともに暮らせるまちづくりの実現に向けて考えていきたいと思います。

○お互いを知ろうとしないと一緒に暮らせない

今日のテーマは「誰もが共に生きていくるまちづくり」。お互いのことを知ろうとしない限りは、なかなか一緒に住むことは難しいと思います。何か違うところがあるなと思う時は、それは聞けばいいんです。教えたいかどうかは本人次第であって、まずは皆さん方が、目の前にいる人のことを知ろうと思うかどうか、そこが大事なんです。

○障がいは環境や人々の考え方には潜む

僕は障がい者って言われてます。でも僕は生まれつきこの身体なので、僕にとってはこの喋り方は普通なんです。僕ら自身に障がいがあるということではなくて、例えば、エレベーターが付いている駅では、僕も電車に乗ることに障がいはない。だから、こうした環境や、体が不自由だからかわいそうという（間違った）考え方、そういうところに障がいが潜んでいると思います。

○誰一人全く同じ人間なんていない

小学校低学年の子たちに「みんなと僕、どんなところが違う？」って聞きました。「喋り方」「歩き方」「お茶の飲み方」とか率直に答えてくれる。

みんなと僕、同じところはどこ？と聞くと「人間」って。そうなんです。人間として、一緒であつて、実は誰一人全く同じ人間なんていないんです。一人ひとりは違つて当たり前で、一人ひとりに違つた生き方があるっていうことを、小さい時から教えていくことがとても大事なんです。

○本当の生きづらさは聞かなければわからない

見てわかる障がいと、見てわからない障がいとがあります。例えば、僕は見るからに歩けない、喋りにくいことがわかるでしょ？でも僕自身は喋りにくくて困ると思つていらない。僕の本当の生きづらさや暮らしにくさは見てもわからない。皆さん方の中にも生きづらさや暮らしづらさを抱えている方つていますよね？それも見てもわからないわけです。障がいのある無しに関係なく、本当の生きづらさ、暮らしづらさは、聞くしかない、もしくは自分で言うしかないんです。

○なぜ、一緒にいられない？

僕は脳性麻痺という障がいがあり、四歳の頃から肢体不自由者の施設に騙されて連れていかれました。この時、月に二回しか家族に会えなかつたんです。近所の友だちは毎日家族でごはんを食べたり、一緒にお風呂に入ったりしているのに「何で僕だけここにいないといけないのか？」「寂しいな」と思つていました。小学校に入る時に地元に戻り、小学校と中学校は地元の学校に通えたのですが、高

等学校は義務教育ではないので、全寮制の養護学校に通うことになりました。どう思いますか？なんで一緒に勉強ができないんですか？

地域共生社会での地域というのは自分が住みたい地域、自分の家族がいる地域なんです。その前提を崩さないでほしいんです。

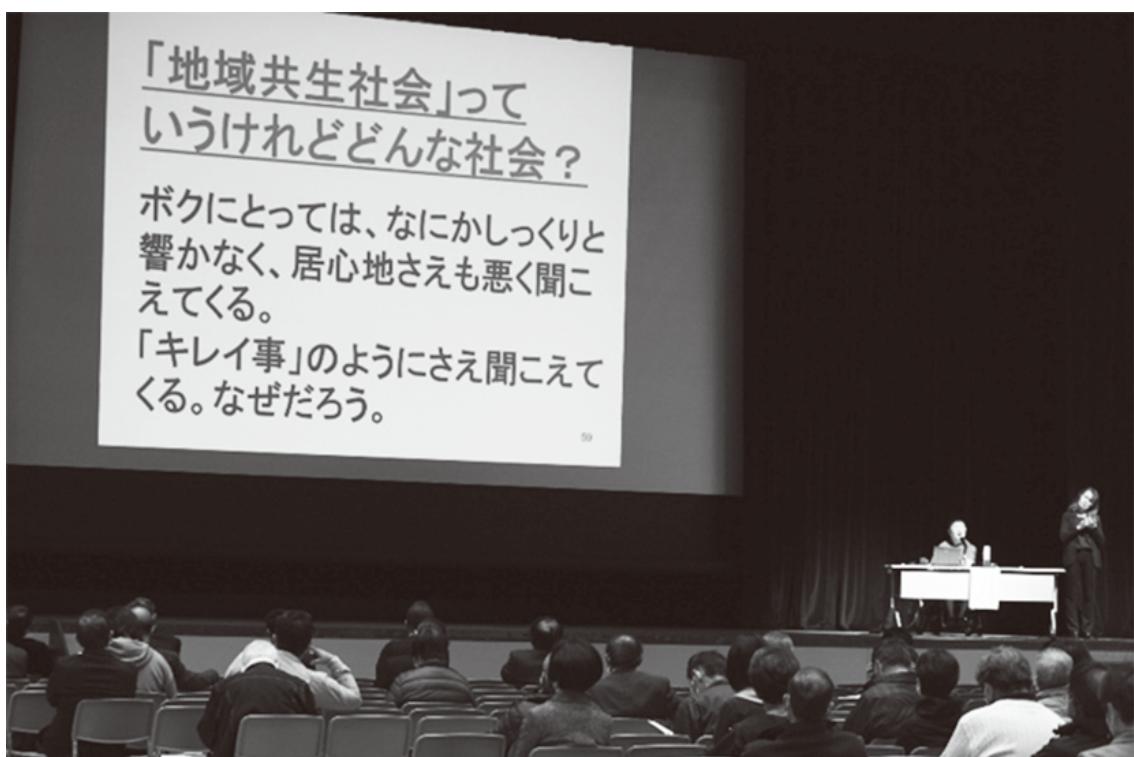
○障がいがあつても

同じように暮らす権利がある

フルインクルージョンという言葉があります。これは、完全な『共に生きていく社会』を作つていくことです。また障がい者の権利条約というのがあり、地域社会に障がい者がちゃんとまぜこぜで生活していくことが健全ということが書かれています。障がい者が居住地を選んで、どこで誰と生活をするかを選択する権利があるんです。だから、皆さんがやつてている生活を障がいがあつてもできないといけないということなんです。よくあるのが、重度やから入所施設、精神障がいがあるから精神病院に入院つて言われます。これがそもそもだめなんですよってことなんです。

最大限に發揮できる社会こそが本当の共生社会

一人ひとりが得意なことを



全体会の様子

を考えながら、工夫、調整をしていく、これが合理的配慮ということなんです。

○さいごに

大切なことは今できることから考えていくことです。でも、みんな同じ役割をしないといけないかというと、それは無理なんです。それよりは一人ひとりが得意なこと、できることを最大限に發揮できるような社会こそが本当の共生社会ではないですか？地域共生社会ということは、地域協働社会でもあるということです。それは多様性を認め合い、共に学び、共に育ち、共に働き、共に暮らす社会づくり、差別や排除などを取り除いていきながら、誰一人取り残されない地域づくりを進めていくことが重要だと思います。



身振り手振りを交えて思いを伝える玉木氏

○スロープやエレベーターの設置はみんなのため

合理的配慮には、スロープを付けたり、エレベーターを付けたり、食堂に展示のメニューを付ける、テレビには字幕が付く、電光掲示板が付くといった色々なことがあります。これは障がい者のためだけなのでしょうか。要はみんなが生活しやすいために色々まちの風景を変えしていくことが、実はみんなのための合理的配慮になるんです。その人らしく生きていくために理にかなつた工夫の積み重ねをしていく。みんながどうすれば暮らしやすくなつていけるのか

講演者プロフィール



玉木 幸則 氏

1968年 兵庫県姫路市に仮死状態で生まれたため脳性麻痺となる。
1991年 日本福祉大学社会福祉学部第Ⅱ部卒業。
現在 一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事などを務める傍ら、内閣府 障害者政策委員会委員も務め、NHK Eテレみんなのためのバリアフリーパラエティー「バリバラ」にレギュラー出演中。

いかがでしたか。地域には様々な理由で生きづらさを抱えておられる方がたくさんおられます。それらを理由として、差別や排除をするのではなく、まずはその人のことを知ろうすること、それが地域共生社会の実現に向けた第一歩となります。11月号の松崎さんの言葉、そして今回の玉木さんの言葉にもあったように、一人ひとり違って、誰一人同じ人はいません。だからこそ、その人を知り、認め合い、共に暮らせる、そんな地域づくりを米原市社会福祉協議会は皆さんと共に進めていきたいと思います。

この記事に関するお問い合わせ

米原市地域支え合いセンター（社会福祉法人米原市社会福祉協議会）

☎：0749-54-3100



地域共生社会フォーラム各分科会ダイジェスト

特集にて掲載しました全体会に続いて、4つの分科会やブースの展示についてご紹介します。

第1分科会

第1部 講演『コロナ禍における在宅医療
～自宅看取りの推移と検死から考えられること～』
講師：中村 泰之 氏（米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」）

第2部 シンポジウム『「最期まで家にいたい」という思いに寄り添って』

シンポジスト

医師 米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」 中村 泰之 氏
介護支援専門員 居宅介護支援事業所ひだまり 宮崎 砂千子 氏
訪問介護員 坂本ケアサービス 坂本 優祈 氏
理学療法士 米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」 津田 洋志 氏
看護師 訪問看護ステーション ライフ 湯浅 幸子 氏
進行役 市立長浜病院 がん看護専門看護師 山岸 美紀 氏

講演では、中村先生から、コロナ禍で、外出がしにくくなり、かかりつけ医・通院をやめられた方の病死や老衰が多くなった感覚がある等、診療実践の中で感じられた説得力のある報告をいただき、コロナの影響によって生まれている在宅医療の課題を改めて考える機会となりました。シンポジウムでは、関係する専門職が登壇され、コロナ禍でもご本人・ご家族の思いに寄り添いながら最期を迎える支援を行うために連携することの大切さを再確認されました。医療とのつながりが途切れないと、それぞれの立場でできることを考えていくことの大切さについて学びました。



中村氏による講演



シンポジウムの様子

第2分科会

『手話で世界を知ろう』

第2分科会では、桑原氏より手話の魅力について教えていただきました。日韓・日朝手話通訳としてもご活躍されており、同じ意味の手話が日本国内でも、また世界各国でも表現方法が違うことを学びました。また手話表現方法は地域文化と深く関



講師 韓国手話講師
桑原 絵美 氏
(日韓・日朝手話通訳者)

りがあり、同じ地域に住む人々の共通認識の中から生まれてきたものだと新たに発見する機会となりました。

第3分科会

『ストレスと上手に付き合うヒント』

第3分科会では、竹内氏より、ストレスが及ぼす影響やうつ病の症状についてご講演いただきました。またストレスと上手に付き合うためのヒントとして、腹式呼吸などのセルフケアを教えていただきました。参加された方が今後ストレスと上手に向き合い自分自身を大切にしながら日々の活動に取り組んでいただければと思います。



講師 特定非営利活動法人
ゲートキーパー支援センター
理事長 竹内 志津香 氏

第4分科会

『成人期の生きづらさと環境調整の大切さについて～発達障がいを中心に考える～』

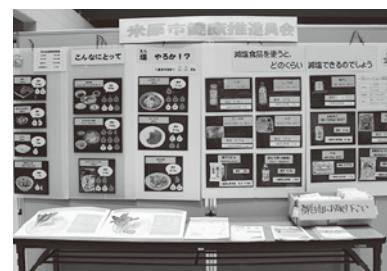
第4分科会では、鈴木氏から成人期の生きづらさと環境調整の大切さについてご講演いただきました。障がいのある人もない人も学校や家庭、地域の中で育ち、互いに支え合うこと、認め合うことが社会に出ても人間関係の中で生きていくとお話し下さいました。講演を聞き、誰もが安心できる場、居心地のよい場があることの大切さを改めて感じました。



講師 (株)アットスクール 代表取締役
アットスクール高等学院 学院長
鈴木 正樹 氏



会場には掲載した以外にも多くの市内のボランティアグループ、福祉事業所等の日々の活動を紹介するブースも設置しました。



令和4年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会 表彰状・感謝状授与式を開催しました

福祉活動への貢献ありがとうございました



表彰

福祉活動の発展向上に寄与し、その功績が顕著な団体・自治会の方々です。

音訳ボランティア 夢のつばさ 様

杉澤自治会 様
舟崎自治会 様

小田自治会 様
上丹生自治会 様

感謝

福祉活動に協力援助するため、善意銀行への高額な寄付や米原市社会福祉協議会の特別会費における貢献顕著な協力者の方々です。

中川善雄 様
扶桑工業株式会社 様

松中共同建設 協友会 様

～表彰団体の活動紹介～



「音の広報」録音の様子

現在12名で活動され、米原市の広報誌や議会だより、社協の広報誌の読み上げ・録音・編集作業を行い、市内在住の視覚障がいがある方へ、「音の広報」として情報を届けられています。コロナ禍となり、メンバー全員が集まるとは難しくなりましたが、役割分担し、みんなが関わり、丁寧に作り上げることを大切に活動を続けておられます。メンバーそれぞれが繰り返し、読み上げ方や録音内容を確認し、より質の高い「音の広報」となるよう心がけておられます。スキルアップのため積極的に勉強もされており、今後も継続した取り組みが期待されます。

◎音訳ボランティア 夢のつばさ

～表彰自治会の活動紹介～

◎小田自治会



避難支援体制構築会議の様子

小田自治会では、令和3年度に災害時の避難支援体制を構築されました。テーマは『災害時に実際に機能する体制』。体制構築に向けて、自治会はもちろん、民生委員児童委員、福祉協力員、サロン代表、赤十字奉仕団、消防団などで何度も協議を重ねてこられました。一方で、広報紙により自治会内への取り組みの周知、啓発を行い積極的な情報発信に努められました。住民の理解を広めながら、避難行動要支援者名簿の充実や日頃からの見守り合う意識の向上、各種団体の横連携の強化も進められました。市内で避難支援体制づくりを検討される地域も増えてきている中、住民の意識の向上やつながりづくり、各種団体の連携強化など、他の地域の模範となる取り組みを実践されています。

住民間で問題を共有し、活動の必要性や内容についての合意形成を図りながら、取り組みを展開しておられ、今後の更なる福祉活動の広がりが期待されます。

◎杉澤自治会



ラジオ体操サロンの様子

杉澤自治会では、コロナ禍となり、サロン活動についての協議を重ねられました。サロンを開催しないことにより発生する歩行能

力の低下や認知症の進行などの問題等を共有され、「コロナ禍だから活動は中止」ではなく、「コロナ禍だからこそ福祉活動が必要」という認識のもと、感染対策に配慮して屋内だけではなく屋外でも実施でき、体を動かす機会を確保しながら、しゃべらなくても一緒に時間を過ごせるラジオ体操サロンを立ち上げられました。ラジオ体操のほかにも米原市が推進する「なわとび体操」を、福祉委員や民生委員児童委員が学び、自分がサロン参加者に伝える立場となつて、サロンに取り入れておられます。

◎上丹生自治会



配食の様子

実際に配食サービスの中で、粗大ごみの搬出に困っていると相談があり、自治会役員が粗大ごみ回収の日に、困っている世帯の粗大ごみを搬出する生活支援活動につながりました。大ごみ回収の日に、困っている事業対象者を75歳以上から必要な方へと拡大されるなど、取り組みが広がっています。



サロンの様子

◎舟崎自治会

舟崎自治会では、サロンを実施され、高齢者同士、高齢者とボランティア、また、ボランティア同士の交流の機会となっていました。そのような中、コロナ禍によりサロンを休止する状況となりました。これまでから大切にしてこられた、つながりを切らさないため、ボランティアの皆さんで検討され、見守り訪問活動に取り組まれるようになりました。

見守り訪問活動では、ボランティアを3班に分け、各班で訪問回数を決めるなど、取り組みを継続しやすい形で実施されています。このように、コロナ禍においても、これまでから大切にしてこられた「住民同士のつながりを切らさない」という思いのもうと、状況に応じた形での取り組みを展開されています。

ご紹介した団体・自治会では、継続的に活動する中で、新たな活動が生まれています。一步一步の積み重ねが大切な福祉活動。地域共生社会の実現に向か、本会も皆さんとともに歩みを進めていきます。



令和4年度共同募金運動報告

みなさまのあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました

(令和5年1月10日現在)

共同募金総額

10,313,482 円

赤い羽根共同募金

6,639,322 円

歳末たすけあい募金

3,674,160 円

- 戸別募金 5,120,279円
- 法人募金 578,093円
- 街頭募金 131,126円
- 学校募金 287,346円
- 職域募金 252,681円
- イベント募金 20,479円
- 個人募金 151,200円
- 寄附付き自販機 73,043円
- 書き損じハガキ 21,134円
- その他 3,941円

<使いみち>

- この募金は令和5年度に実施される、さまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために役立てさせていただきます。
- 福祉活動団体・ボランティアグループ等の活動支援
- 広報誌（社協まいばらてとて）の発行
- 子育て支援等 他

<使いみち>

- この募金は支援を必要とする方々への配分や食料支援および歳末時期に行われる当事者団体の事業等へ配分させていただきました。
- ひとり親世帯や低所得者世帯等へ配分 736件 2,944,000円
- 当事者団体が行う地域交流事業へ配分 4団体 80,000円
- 居場所継続のための補助（自治会へ）1自治会 50,000円
- 食料支援事業の実施他 600,160円



法人募金として下記の企業・商店よりご協力をいただきました

(順不同 敬称略)

- 有限会社赤堀新聞舗
- 株式会社旭ハウジング
- 株式会社いぶき
- 有限会社伊吹金属
- 伊吹建設工業株式会社
- 有限会社伊吹・旬彩
- 伊吹電業株式会社
- 岩崎産業株式会社
- 有限会社大野造園
- 株式会社尾賀亀
- ENEOS 伊吹サービスステーション
- カーメンテナンスオオツカ
- 有限会社北川モータース
- 北川電気設備有限会社
- 木村工務店
- 協栄自動車
- 株式会社清原織物
- 株式会社ケアサポートみしま池
- 有限会社小林屋
- 小林養鱒場
- 有限会社澤溶工
- 三黄通運株式会社
- 三軌工業株式会社
- 滋賀鉱産株式会社
- 有限会社白谷木材
- 蕎麦の里 伊吹
- 社会福祉法人大樹会
- ・デイサービスセンターやすらぎハウス
- ・やすらぎハウス居宅介護支援事業所
- 有限会社高木製作所
- 立木与三郎商店
- 谷孫料理店
- 地域包括ケアセンターいぶき
- 塙田医院
- 株式会社塙本組
- 有限会社坪井農具製作所
- 株式会社電化のミヤザキ
- 有限会社東光
- 東湖産業株式会社
- 株式会社童夢
- 富田整体
- 認定こども園長岡学園
- 中西石油株式会社
- 長浜信用金庫米原支店
- 長浜セレモニー株式会社
- 長浜葬祭有限会社
- 西川自動車株式会社
- にのみや歯科医院
- 日本サミコン株式会社
- 日本ソフト開発株式会社
- 長谷川事務所
- 有限会社葉広タイヤ商会
- 有限会社羽渕石油
- 有限会社伴自動車
- 社会福祉法人ひだまり
- びわこ産業株式会社
- 藤田株式会社
- フジモト
- 扶桑工業株式会社
- 古澤税理士事務所
- 堀川石材店
- 有限会社マコトヤ
- 丸真商店
- 株式会社丸善おくむら
- 株式会社マルモト
- 株式会社三原モータース
- 三宅司法書士事務所
- 山形石油株式会社
- 有限会社山崎オートサービス
- 有限会社山田工作所
- 山根自動車
- 山根歯科医院
- 株式会社ヤンマービジネスサービス
- 株式会社横田製作所
- ライセル株式会社
- 利高工業株式会社
- 力興木材工業株式会社
- 緑土開発株式会社
- レーク伊吹農業協同組合
- 和食すし処番野
- 米原市山東工場部会
 - ・アコース株式会社
 - ・株式会社アルナ矢野特車
 - ・内堀鉱業株式会社
 - ・近江鉱業株式会社
 - ・柏原工業株式会社
 - ・株式会社 KOHOKU
 - ・三友エレクトリック株式会社
 - ・株式会社滋賀銀行山東支店
 - ・日本ガスケット株式会社滋賀工場
 - ・ハマナカ繊維株式会社滋賀工場
 - ・三菱ケミカル株式会社滋賀事業所
 - ・名鉄運輸株式会社米原事業所
 - ・株式会社ヤマムログループ
 - ・ヤンマーパワー・テクノロジー
 - 株式会社伊吹工場
 - ・レーク伊吹農業協同組合山東支店
- 匿名 1 件



令和4年度の募金活動

今年も、各自治会を通じ、たくさんの方々にご協力をいただきました。

そのほか、各種団体の活動をはじめ、市内の全小・中学校・高等学校で生徒会活動やボランティア活動として募金に取り組まれ、私たちが暮らす米原市を良くしたいという一人ひとりの願いと温かい気持ちをお寄せいただきました。



春照小学校



フレンドマート米原駅前店にて



山東小学校



伊吹小学校



フタバヤ近江店にて



米原小学校



大東中学校



伊吹旬彩の森にて



柏原小学校

令和4年度「赤い羽根共同募金助成事業」より助成をうけました

このたび、滋賀県共同募金会の広域助成「滋賀の町を良くするしくみ」より助成をうけ、除雪機を1台購入し伊吹地域福祉活動センターに配備しました。この助成金は、令和3年度米原市民の皆さんにご協力いただいた赤い羽根共同募金が活かされています。

雪深い地域の安心安全な暮らしを守るため、有効に活用させていただきます。

皆さまの温かいご支援ありがとうございました。



令和4年度 社協会費のご協力ありがとうございました

(令和5年1月10日現在)

●普通会費（自治会・個人） ······ 8,738,800円

●特別会費（企業・商店等） ······ 1,287,000円

※11月号にてご報告後、下記企業よりご協力いただきました。

・北川電気設備有限会社 様 · 伊吹電業株式会社 様

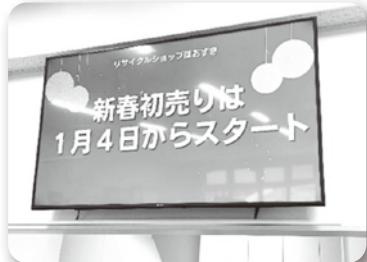
・ベルソーリ料理旅館瓢箪屋 様 · 株式会社ヤンマービジネスサービス 様



ダイトロン福祉財団より助成金を受けました！

ダイトロン福祉財団様より20周年記念助成金をいただき、ほおづき作業所に大型ディスプレイを設置しました。

イベント情報や作業所の取り組み等の発信に活用します。



相談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～金曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

※山東地域福祉活動センターは午後5時15分閉館。祝日も閉館。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります。）

〈問合せ〉米原市 福祉政策課 TEL：53-5121

相談日	会場	相談日	会場
2月14日(火)	米原市役所3E会議室(米原1016)	3月14日(火)	山東支所(長岡1206)
2月28日(火)	愛らんど(春照56)	3月22日(水)	学びあいステーション(顕戸1513) (旧近江公民館)

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会場	相談日	会場
2月9日(木)	米原市役所3E会議室(米原1016)	3月9日(木)	米原市役所3E会議室(米原1016)

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時～12時15分までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 福祉政策課 TEL：53-5121

※各相談については、状況により中止になる場合があります。



法律・福祉・高齢・障がいなど

予約不要相談無料

＼なんでも相談会 in 米原／ 開催のご案内

みなさんが抱えている心配ごと、悩み、不安などについて弁護士・司法書士・社会福祉士・行政職員・社協職員がなんでも相談をお受けします。

例えばこんな、ご相談・・・

- ・50代の無職の息子と2人暮らし。私にもしものことがあると息子はどうなるのか心配。
- ・障がいのある娘。親亡き後、1人で生活していくために、利用できる制度を知っておきたい。
- ・成年後見制度を利用したいと思っているが、制度や申立ての方法などについて詳しく教えてほしい。

○日時：令和5年3月11日（土）13時30分～16時30分
(相談受付時間13時15分～16時00分)

○場所：米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570）

○対象：米原市在住の方

ご本人・ご家族・支援者など、どなたからの相談も大歓迎です！

○問合せ先：米原市権利擁護センター（社会福祉法人 米原市社会福祉協議会）

☎ 54-3205 FAX 54-3115

善意銀行だより

令和4年10月1日～令和5年1月5日
(敬称略)

〔金銭預託〕

朝湖会グラウンドゴルフクラブ	5,000円
レーク伊吹農業協同組合	20,800円
昭和29年度 入江小学校	
卒業者 同級会有志	17,864円
三菱ケミカル労働組合	
関西支部山東分会	20,000円

〔物品預託〕

中川貞夫	米
おおはら農園どろんこばたけ	
さつま芋、大根	
近江学びあいステーション	
ポータブルトイレ	
米原の大地の恵み 渋柿（吊るし柿用）	
伊藤信義	米、もち米
匿名	米
匿名 介護ベッド・パジャマ・シーツ	
新庄福祉会	米
レーク伊吹農業協同組合女性部	
	米、もち米
大久保秀雄	米



レーク伊吹農業協同組合女性部 様



三菱ケミカル労働組合
関西支部山東分会 様

※その他、季節の野菜や果物をいただき、生活困窮者支援物資提供事業、子ども食堂、市内福祉事業所等へ広く配布を行い、効果的に活用しています。

こんにちは、米原市権利擁護センターです



成年後見制度って言葉は耳にするけど
どんな制度なんだろう？

成年後見制度とは・・・

認知症の高齢者・知的障がい者・精神障がい者等の判断能力が不十分な方の預貯金管理や、不動産処分などの財産管理に関する手続きや、福祉サービスの利用や施設の入所の契約・行政機関への手続きなどを後見人に支援してもらう制度です。

ご本人が意思表明できない状態であったとしても、ご本人がどのように暮らしていたのか、暮らしたいと思っていたのか、本人の思いが尊重されながら支援を受けることができます。



法定後見制度

判断能力が不十分になった際に、本人または親族等が申し立てを行うことができます。裁判所が後見人等を選任します。

任意後見制度

自分の判断能力が衰えてきた時に備えて、あらかじめ任意後見人（後見人等）を自分で決めておくことができます。



後見人等には、親族のほか、専門職として弁護士・司法書士・社会福祉士や、社会福祉協議会等の法人が選任されます。

必要に応じて、裁判所へ提出する書類の記入についてもお手伝いさせていただいているます。

「制度のことを詳しく聞きたい」・「利用を考えているけど、具体的にどうすればいいの？」など、お気軽にお問い合わせください。



☆相談・お問い合わせ☆

米原市権利擁護センター（社会福祉法人米原市社会福祉協議会）

米原地域福祉センターゆめホール1F

〒521-0023 米原市三吉570番地

電話：0749-54-3205 FAX：0749-54-3115

メール：maibara@maibara-shakyo.or.jp

右のQRコード
からメールに
つながります！





米原市のボランティア情報をお届けします♪

まいボラ



ボランティアさんによる親子「昔遊び」体験が開催されました

多文化共生協会では、子どもから高齢者まで多くの市民が国際理解を深め、様々な国籍や文化の背景を持つ人々が交流し、市民一人ひとりが輝く住みよい米原市を築くための取り組みをされています。

交流の場として毎月「虹の広場」を開催し、様々なイベントを実施されています。11月は「昔遊び」を通じて子どもたちが地域の方と交流する機会を持ちたいとボランティアセンターに相談がありました。

昔遊びを教えてくださる方を募集したところ、4名のボランティアさんがご自身の経験を生かし、親子で楽しめるようサポートしてくださいました。参加されたお子さんはうぐいす笛作りやお手玉・折紙・ビー玉・おはじき・けん玉・こままわし・あやとり遊び等にチャレンジすることができました。

またボランティアさんのお孫さんも参加され、ボランティア活動をきっかけに様々な地域の皆さんのつながりが広がる機会となりました。



イベント開始にあたり、ボランティアさんがご挨拶



うぐいす笛作りの様子



ボランティアさんがけん玉をレクチャー

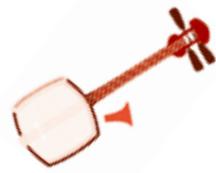


親子で一緒に折り紙遊び



巷で話題のホットなボランティアさん♡

津軽三味線ボランティア「糸の音」



結成4年目の「糸の音」さん。現在は5名のメンバーで活動されています。

先日、サロンからの依頼を受け演奏いただくことになり、様子を拝見しました！

津軽三味線の演奏はもちろん、三味線の音色に合わせ、参加者の方に打楽器を打ち鳴らしてもらい、リズム体操や軽い体操も取り入れながら楽しい時間を過ごしておられました。

氷川きよしの「きよしのズンドコ節」に合わせ、元気いっぱい打楽器を叩く参加者の皆さん。軽快な三味線の音色に自然と笑みがこぼれています。😊

「サロンで披露をして楽しんでもらえて良かった！」で終わることなく「もっとこうしたら良かったかな？年齢層に合わせたりズムにしないといけないと思う。音源のスピードも何パターンか持っていないといけないと思ったので準備しようと思う。」など次の依頼に向けて更に皆さんに楽しんでもらえるよう、工夫・準備をされています。

皆さんも津軽三味線の生演奏を聞いてみませんか？



糸の音代表 大野さんの力のこもった演奏♪ サロンの参加者の方も演奏に参加されました！



おしらせ

ペットボトルキャップ・プルタブの回収場所について

ペットボトルキャップについて、以前は社協窓口で受け取りをしておりましたが、これまでのキャップを再生するための回収ルートでの引き取りが困難となりました。それに伴い、数年前より、回収を行っている米原市近隣スーパーなどへ持ち込みいただくよう移行してまいりました。

つきましては、今後ご家庭であつめていただきましたキャップについては、各自で回収店舗等へお持ちいただきますよう、改めてご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

なお、プルタブについては、長浜みなみ共同作業所（長浜市永久寺町888番地1）にて回収をされています（ペットボトルキャップも回収されています）。



*学校や自治会等の団体で取りまとめておられる場合など回収についてのご質問は、米原市ボランティアセンター（☎54-3100）までお問い合わせください。



こちらのページの記事に関するお問い合わせは…

米原市ボランティアセンター（社会福祉法人 米原市社会福祉協議会）

住所：米原市三吉 570 番地

☎ 0749-54-3100 FAX 749-54-3115

✉ sasaeai@maibara-shakyo.or.jp





米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介

おおきくな~れ

みんな集まれ♥

おもちゃであそぼ 親子で防災食を作つてみよう !!

日 時：令和5年2月8日（水）10時～12時(9時半～受付)

内 容：米原市赤十字奉仕団さんと一緒に防災食作り

新聞紙ができる、災害時に役立つグッズ作り

会 場：米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570番地）

定 員：先着15組

参加費：200円／1組

対象者：市内在住の未就園児とその保護者

申込先：米原市ボランティアセンター（☎ 54-3100）

申込締切：2月3日（金）

いざという時に
役に立つ！



米原市ファミリー・サポート・センター 交流会のご案内

昨年9月に予定していた交流会の振替イベントを行います。楽しいイベントを通して、ファミサポについてもっと知ってもらう機会になると嬉しいです。登録会員の方はもちろん、まだ会員ではないけれどファミサポやイベントに興味のある方、どなたでもご参加いただけます!! みなさんのご参加、お待ちしております♪

日 時：令和5年2月25日（土）9時～12時（受付8時30分～）

内 容：ミシンカフェ 入園・入学・進級グッズをつくろう！

（お好きな布をご持参ください。ミシンが苦手な方には
完成品の販売もございます。詳細についてはお問合せ
ください。）

ボランティアさんによる楽しい演奏会 など

会 場：米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570番地）

参加費：100円／1人（小学生以下は無料）

申込先：米原市ファミリー・サポート・センター（☎ 54-3100）

申込締切：2月17日（金）

出張おもちゃ病院も
来てくれるよ♥



法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3110 FAX 54-3115 ☎ maibara@maibara-shakyo.or.jp

山東地域福祉活動センター

米原市長岡1206 市役所山東支所内
☎ 55-3933 FAX 55-3933 ☎ m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹地域福祉センター愛らんど内
☎ 58-1770 FAX 58-2231 ☎ m-shakyo-sishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3100 FAX 54-3115 ☎ maibara@maibara-shakyo.or.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
☎ 52-1463 FAX 52-8051 ☎ m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

- 文字が読みにくい等でお困りの方に、毎号「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽にお問い合わせください。
- （「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。）



てんてんのイラストは、地域のボランティアさんに描いていただいたイラストです。

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

